学報
みえたん

発行所
三重県津市一身田中野157
三重短期大学
電話　059－232－2341
E-mail:232-2341@city.tsu.lg.jp
印刷所
㈱　伊勢出版
電話　059－265－6888

「地域と共に　みえ短」

三重短期大学に学ぶ学生の活力は、地域の大切な財産です。
学生の学内活動だけでなく、地域社会において自主的にさまざまな活動をすることを推奨しています。こうした活動は、学生が地域貢献を果たすとともに、地域社会が学生を育む機会でもあり、地域と一体となった三重短期大学を目指しています。

一身田寺内町の清掃

一身田寺内町は、平成29年11月に国宝指定された２施設を含む高田本山専修寺を中心とした寺内町で、今もほぼ完全な形で環濠（かんごう）が残されるなど、多くの文化財や歴史的な町並みを現在に伝えています。

５月13日（土）に地元の住民、地元中学校の生徒の皆さんとともに、一身田寺内町や高田本山専修寺境内の清掃・除草を行いました。

大津波想定避難訓練

４月27日（木）南海トラフ巨大地震に備え、津波を想定した避難訓練を行いました。三重短期大学から、高台にある一身田上津部田の県総合文化センターを目指し、学生と教職員が歩いて避難しました。

また、校舎棟の３・４階と屋上は津波避難ビルの指定を受けているため、屋上の緊急避難場所の確認を行うとともに、煙体験ハウスによる避難体験、ＡＥＤの取扱い、消火器の使用訓練を行いました。

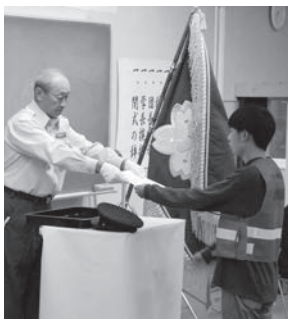
災害時は、自分の身は自分で守ることが大切になります。この訓練により防災意識の一層の向上を図ることができました。

学生機能別消防団

学生機能別消防団では、避難所での救援物資の配布などの支援活動や各種消防講習会における支援及び広報活動を行います。

今年度は27名の学生が機能別消防団員として入団し、６月１日（木）に辞令交付式を行いました。

４月の避難訓練の参加や10月には、初期消火訓練及び救急法に参加するなど地域防災について学んでいきます。



71年目の三重短期大学

学長　村井　美代子

令和４年10月29日に、本学体育館で三重短期大学創立70周年記念式典を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症に係る県・市イベント開催基準の下、一定の制約はありましたが、多数の来賓の皆様にご出席いただき、多くの祝電やお祝いのメッセージを頂戴しました。また文部科学省高等教育局大学教育・入試課長の古田和之様にご臨席賜り、文部科学大臣祝辞を代読いただきますとともに、記念講演を行っていただきました。式典終了後には本学学生ホールで、食事やアルコール類を提供しない形で懇親会を開催し、こちらも多数の皆様にご出席いただき、懐かしいお話をうかがいました。さらに三重短期大学同窓会と三重短期大学教育振興会のご支援を得て、『開学70周年記念誌』を編纂・発行し、多数の同窓生の皆様にもご寄稿いただきました。創立70周年記念事業の実施にあたり、数多くの皆様から暖かいご理解とご協力を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

開学から71年目を迎えた今年４月の入学式は、４年ぶりにご家族や関係者の皆様にもご出席いただき、にぎやかな春を迎えました。さらに５月には、新型コロナウイルス感染症が、感染症法における２類の扱いから５類の扱いへ移行したことを受け、教室内の座席数の制限の緩和や、飛沫防止用に設置していたアクリル板の撤去などを行いました。まだまだ油断は禁物ですが、キャンパス内にも、学生たちの表情にも、以前の活気が戻りつつあることを一教員として日々嬉しく感じています。

津市では令和４年４月26日から、「ふるさと津かがやき寄附」を通して、三重短期大学を指定した寄附募集を開始しています。昨年度末で約百八十万円の寄附金をいただき、さらに今年度に入ってからも多くの皆様のご協力を得て、令和５年６月時点で二百万円を超える寄附金をいただいているとの報告を受けています。皆様からの貴重な寄附金は来年度以降、学生のためのより良い教育環境整備に活用させていただきたいと考えております。寄附金の活用状況につきましては、本学ホームページなどでもご報告させていただきます。今後もよりよい大学づくりに邁進してまいります。引き続き暖かいご理解とご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

ふるさと納税で三重短期大学を応援！

令和４年４月26日より津市では「ふるさと津かがやき寄附」を活用して「三重短期大学応援分」寄附募集を開始しました。

この制度は、ふるさと納税の制度を活用し、三重短期大学を指定した寄附を募集させていただくものです。

この制度を通じ、三重短期大学を応援していただけるようになりました。

三重短期大学を指定した寄附募集につきましては、開学71周年を迎えた本学のこれまでの歴史を踏まえ、さらに本学を発展させ、「地域に存在のあるキラリと光彩を放つ公立短期大学」として、必要な施設整備や教育研究費など教育環境の充実に活用させていただく予定です。

皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。詳細は下記をご覧ください。

←ふるさとチョイス津市のHPへ飛ぶQRコード

① ふるさとチョイスHPの「三重県津市」へ
② お礼の品を選び寄附の申込に進む
③ 寄附金の使い道を選択
④ こどもたちが未来に向かって輝くまちづくり**（三重短期大学）**を選択

していただくことにより、直接、本学を応援していただけます。

法経科の現況

法経科長　田　中　里　美

法経科には、昼間部の第１部と夜間部の第２部があります。特に法経科第２部から三重短期大学は始まりました。昨年、70周年を迎え、長きにわたり津市民のみなさまのご協力を得た、地域に根差した大学となっております。

２０２３年度は、行政法の古畑淳先生を教員として新しく迎えました。そして、法経科第１部法律コースにおいて51名、経商コースにおいて52名、合計１０３名の新入生を迎えました。法経科第２部は70名の新入生を迎えました。法経科第２部の新入生のうち長期履修学生は３年次が５名、４年次が５名となっております。長期履修学生制度は今年度で３年目を迎えますが、徐々に希望者が増えてきている状況にあります。

昨今は、18歳人口の減少により、定員割れを起こしている大学が増加傾向にあります。三重短期大学法経科においても同様に、受験生が減少傾向にありますが、法経科には多くのメリットが存在すると考えております。一つ目は、数少ない公立短大というブランド、二つ目は、低廉な学費で学修できる事、三つ目は、四年制大学並みに充実したカリキュラム、４つ目は、リカレント教育に対応し、ゆっくりと深く学べる長期履修学生制度、５つ目は少人数での演習の実施など、他大学と比較しても負けないメリットが数多くあります。それらのメリットを生かし、受験生の維持、増加に加え、魅力のある教育カリキュラムの構築など、さまざまな点でさらに充実させていきたいと存じます。

食物栄養学科の現況

食物栄養学科長　阿　部　稚　里

食物栄養学科では、本年度４月に48名の新入生を迎えました。入学当初は静かだった教室でも、徐々にお友達同士で話し合う活発な姿が見られるようになりました。本学科は三重県以外から入学した学生も多く、自己紹介の場では出身地で盛り上がることもありました。

５月に新型コロナウイルスが「２類相当」から季節性インフルエンザと同じ「５類」に引き下げられ、本学科の実験実習も一部を除いてコロナ以前に戻して実施することができました。講義で得た知識を実際に自分の手で確かめることによって興味を持ち、知識の定着を図り、考察を深めていくことができています。他学科に比べるとレポートは多いですが、課題をこなしていくうちに、栄養士としての知識・技術だけではなくパソコンのスキルも身についた、達成感がある、スケジュール管理ができるようになったという声もよく聞きます。一方で、欠席が続くと授業についていくのが大変、課題の締め切りが続いて寝不足などの声も聞きます。担任を中心として出席状況を確認し、フォローが必要な学生には寄り添ってサポートすることを心がけています。

本年度の２年生から特別演習が必修化されました。少人数制の元で興味がある分野に取り組んでおり、さらに地域貢献・地域連携活動では２年生を中心に高校生の運動部栄養サポート、世界の料理の調理実習など熱心に活動しています。２年間という短い学生生活が充実したものになるように、教員も引き続き支援していく所存です。

生活科学科の現況

生活科学科長　小野寺　一　成

生活科学科は「生活福祉・心理コース」と「居住環境コース」の２つコースを有し、定員１００名の学科を８名の教員で切り盛りしています。昨年度は、新生生活科学科独自の特色ある授業として、夏季集中講義「地域づくり実践」を開講しました。

「地域づくり実践」とは、２つのコース共通の教育プログラム「ＰＢＬ科目」とし、プロジェクト型の地域問題解決型授業です。両コースの学生を混成した受講生４名程度を１グループとして、問題解決型のグループ演習をワークショップ形式で行います。このプロジェクト型授業を通して、各コースの座学である各講義の体系的な繋がりや学びの必要性を知ることと、教養だけでなく実践的に地域の活性化や課題等に取り組む学生を輩出することを目指しています。２０２２年度は、三重県の県庁所在地津市の玄関口である「津駅及び駅周辺地域」を対象地区とし、地域の問題点や課題を把握し、歴史的な背景や現在の社会動向などを勘案しながら、県都にふさわしい津駅及び駅周辺地域の再生や駅周辺地域の活性化を目指した提案を行いました。

卒業後の進路は、四年制大学への編入や公務員を輩出しており、編入や就職に強い学科となっています。また、社会福祉士基礎資格や一級・二級建築士受験資格が得られるカリキュラムが組まれており、前述の「地域づくり実践」と併せて、社会で活躍できる学生の輩出を目指し、より一層の努力を重ねています。

「地域づくり実践」の動画紹介

キャンパスライフ

学生部長　南　有　哲

本学においては、学生たちはサークルやクラブ、自治会、生協学生委員会、消防団などで自主的な活動を行っています。学生たちの団体である学生自治会（１部および２部）、学祭実行委員会、生協学生委員会、三科合同クラブ委員会と短大学生部が協議する「三部会」が月一で原則定例開催され、学生たちとともに議論を重ねながら、その自主的な活動を支援しています。

この５月に新型コロナウイルス感染症についての国の扱いが、２類から５類に移行したことを受けて、学生たちのキャンパスライフは常態に戻りつつあり、短大学生部もそれを受けた対応をとっています。４月には昨年にひきつづき、自治会主催の新入生歓迎バス旅行が開催され、ナガシマスパーランドで交流を深めました。６月には自治会主催のレクリエーション大会が行われ、50人ほどの学生が参加しました。

そして７月には「サマーフェスティバル」が学祭実行委員会の下に開催されました。高校時代のほとんどをコロナ禍のなかで過ごした学生諸君は文化祭などの経験も少なく、準備過程においてはいろいろと課題が明らかになりましたが、結果的には祭りを成功させることができました。

この12月には学園祭も予定されており、これまでの経験を踏まえながら、より多くの学生や地域市民の方々の参加を実現するべく、学生たちは奮闘しています。短大としてもひきつづき学生たちを支援しつつ、充実したキャンパスライフの実現に努めていく所存です。

地域連携センターだより

地域連携センター長　石　原　洋　介

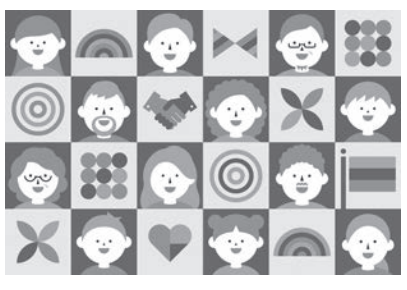
三重短期大学地域連携センターは、本学と地域との連携事業に取り組むための部局です。地域連携事業は多岐にわたりますが、いずれの事業も各方面からの支援を得て、着実に成果をあげてきています。ここでは主要な分野について紹介したいと思います。

私たちが最も重要な分野と位置づけているのが生涯学習の機会を提供することです。「地域連携講座」と「オープンカレッジ」が中心的事業となります。「地域連携講座」は、本学の教員がコーディネーターとなり、学外から研究者や実業家をお招きして、最先端の知見を市民に提供する講座です。年２講座、開講します。「オープンカレッジ」は、本学の教員が講師となり７月から11月の第一土曜日に実施する市民講座で、毎月２講座、計10講座を開講します。いずれの講座ともどなたでも参加することができます。この他にも、市民の要望に応じて教員が出向いて講演を行う「出前講座」があり、毎年多くの依頼をいただいています。

市政との連携では、「政策研究・研修」の実施や、「自治体行政特論」の開設をしています。「政策研究・研修」は県内の自治体職員と本学教員が協力して、行政が抱えている特定のテーマについて研究・研修を行うものです。本年度は「食物摂取頻度調査法を用いた栄養調査実施による三重県との比較および各自治体の課題の抽出」をテーマに津市・亀山市の職員が参加して実施しています。「自治体行政特論」は本学の特色あるオムニバス形式の授業で、津市の各部署の職員の方や市長にお越しいただき、市政について語っていただきます。

また、三十三総研との産学連携事業である「小論文・作品コンクール」は回を重ねて17年目を迎えます。今年は「ダイバーシティ（多様性）を認め合う社会へ」をテーマに、学生たちから小論文、レシピ、デザイン作品を募集します。数多くの力作の応募を期待しています。

今後も、地域連携センターは大学と地域をつなぐ架け橋の役割を担っていきたいと考えています。



新任教員の紹介

法経科　古畑　淳

令和５年４月に着任いたしました古畑淳と申します。行政法と地方自治法の講義を担当しています。専門は社会保障行政法で、主に子どもや若者の社会保障の問題に注目して、行政法と地方自治法の研究に取り組んでいます。

愛知県の大学で19年間、教育・研究活動に携わってまいりましたが、ご縁をいただき、本学で教育・研究活動を行えることになりました。専門とする法学の教育に取り組むことのできる喜びを感じるとともに、法学の魅力や面白さをどのように学生に伝えたらよいかを日々考えながら授業を行っています。

私たちの生活に密接に関わり合っている行政の活動を規律しているのが行政法ですが、講義やゼミを通じて、その魅力や役割の大きさを存分に学生に伝えていきたいと思っています。また、地域への貢献を大事にしている本学の一員として、自身の研究成果を分かり易い言葉で皆様に披露していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館だより

附属図書館

附属図書館の所蔵資料は令和４年度末で図書１００，２０７冊（和書９５，７０９冊、洋書４，４９８冊）、電子書籍３３３冊、受入れ雑誌１１２種（和雑誌97種、洋雑誌15種、）オンラインジャーナル12種、紀要６８３種、新聞８種（和新聞６種、洋新聞２種）、視聴覚資料３７５タイトルで、小規模図書館でありながら、20万冊を超える資料を所蔵しています。

利用状況は、令和４年度は、入館者数１３，９３２人、貸出者数２，６８９人（うち一般31人）、貸出冊数４，５０６冊（うち一般65冊）です。

図書情報に関する相談件数は、２６７件（所蔵調査２３７件、事項調査30件）となっています。

平成17年に２名から始まった学生ボランティアは、現在は部として本学で活動しています。また、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた一身田中学校での活動を今年度から再開し学校図書館でワークショップなどを開催しています。

論文などの調べ物支援や就職活動・編入試験対策の資料提供をするとともに、新聞・雑誌、新聞記事を検索できるデータベース、ＤＶＤ視聴スペースなどがあります。先生方に選書していただいた本を袋につめて展示、貸出するＳＵＭＭＥＲ　ＨＡＰＰＹ　ＢＡＧなどの企画も行っています。ぜひご利用ください。

令和５年度総会を開催

三重短期大学教育振興会

５月11日（木）、役員会と総会が開催され、令和５年度役員の選任、令和４年度収入支出決算、令和５年度収入支出予算などが提案され、すべて原案どおり承認されました。役員は平松会長、並びに小野副会長に留任いただき、三名のご家族の方々が書記、評議員に選任されるなど、合計■□■□■□■□■□■□三十名による役員体制となりました。

決算では、就職対策、編入学講座、クラブや自治会、70周年記念事業の補助などの報告が行われ、本年度予算では、例年の事業についての説明などが行われました。

教育振興会は、昭和27年５月の開学直後に発足し、本学の教育目標である「広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、議論的で自主的な判断能力に加え応用力や実践力の富む有為な人材育成をすること」の達成のために、教育の拡充や施設整備等の援助を図り、学生がより良い環境の中で学び教養が高められるよう活動しています。

令和4年度教育振興会収入支出決算

三重短期大学教育振興会

収入

科目	予算額	決算額	予算額に対する決算額の比較増減額	備考
	円	円	円	
繰越金	4,090,808	4,090,808	0	
会費	16,295,000	16,295,000	0	新入生会費　法Ⅰ・生活・食栄　252人　15,120,000円 法Ⅱ　47人　1,175,000円
繰入金	4,000,000	4,000,000	0	
雑収入	1,000	110	△ 890	預金利子110円
合計	24,386,808	24,385,918	△ 890	

支出

科目	当初予算額	流用・補正	予算現額	決算額	不用額	備考（主なもの）
	円		円	円	円	
教育振興会費	24,386,808		24,386,808	18,324,865	6,061,943	
事務費	1,690,000	0	1,690,000	1,474,549	215,451	
事務職員給与	1,400,000	0	1,400,000	1,266,714	133,286	振興会臨時職員給与
通信費	150,000	0	150,000	124,264	25,736	学報みえたん、総会通知郵送料等
消耗品費	10,000	0	10,000	4,439	5,561	
手数料	80,000	0	80,000	79,132	868	口座振込手数料
備品費	50,000	0	50,000	0	50,000	
会議費	55,000	0	55,000	52,558	2,442	
会議費	5,000	0	5,000	3,058	1,942	
役員行動旅費	50,000	0	50,000	49,500	500	役員報償費
事業費	22,641,000		22,641,000	16,797,758	5,843,242	
学校運営費補助	7,360,000	0	7,360,000	6,175,138	1,184,862	
研修旅費補助	60,000	0	60,000	20,000	40,000	
入学試験啓発及び実施補助	2,400,000	0	2,400,000	2,047,643	352,357	大学案内・学生募集・ホームページ維持管理料
清掃費補助	20,000	0	20,000	0	20,000	
消耗品費補助	50,000	0	50,000	30,255	19,745	
印刷費補助	90,000	0	90,000	38,500	51,500	学報みえたん印刷費
図書及び備品費補助	250,000	0	250,000	163,350	86,650	医務室備品購入費等
教員研究費補助	4,350,000	0	4,350,000	3,873,230	476,770	学会費補助、消耗品等
特別研究費補助	50,000	0	50,000	0	50,000	
学外活動等保険料	10,000	0	10,000	2,160	7,840	
報償費	80,000	0	80,000	0	80,000	
補導厚生費補助	8,121,000	0	8,121,000	3,898,335	4,222,665	
学生補導費	500,000	0	500,000	302,670	197,330	スポットクーラー、情報室トナー、Wi-Fi
学外実習費補助	120,000	0	120,000	0	120,000	
厚生事業費	1,000,000	0	1,000,000	408,849	591,151	相談室運営費
就職対策費	1,800,000	0	1,800,000	1,132,300	667,700	編入学講座補助、キャリア形成セミナー講師料
食堂運営費補助	600,000	0	600,000	600,000	0	学生食堂運営補助
文化事業費	2,800,000	0	2,800,000	600,000	2,200,000	大学祭補助
交歓競技会補助	1,000	0	1,000	0	1,000	
卒業式等実施補助	1,300,000	0	1,300,000	854,516	445,484	卒業記念パーティ補助、学位記ホルダー等
講座研究費補助	1,700,000	0	1,700,000	1,418,956	281,044	
学術研究費補助	950,000	0	950,000	928,539	21,461	地研消耗品費、図書購入補助
学術研究旅費補助	350,000	0	350,000	245,265	104,735	学術研究旅費
研究機関誌補助	150,000	0	150,000	129,525	20,475	地研年報印刷費補助
発展計画委員会等補助	250,000	0	250,000	115,627	134,373	FD/SD活動報告書
附属図書館費補助	1,810,000	0	1,810,000	1,808,777	1,223	
図書購入費	1,500,000	0	1,500,000	1,499,291	709	学術誌等購入費
印刷費	190,000	0	190,000	189,750	250	図書館だより印刷、雑誌製本費等
消耗品費	120,000	0	120,000	119,736	264	
校舎整備費補助	800,000	753,228	1,553,228	1,553,228	0	
校舎整備費補助	800,000	753,228	1,553,228	1,553,228	0	空調機器、防犯カメラ、プロジェクターランプ、施設修繕
渉外費補助	50,000	0	50,000	0	50,000	
渉外費補助	50,000	0	50,000	0	50,000	供花・生花代
70周年記念事業費補助	2,800,000	△ 753,228	2,046,772	1,943,324	103,448	
70周年記念事業実行委員会補助	600,000		600,000	599,624	376	開催経費及び70周年記念誌等
70周年記念事業教室整備補助	2,200,000	△ 753,228	1,446,772	1,343,700	103,072	第12教室整備、机椅子、プロジェクター
積立金	0	0	0	0	0	
積立金	0	0	0	0	0	
予備費	808	0	808	0	808	
予備費	808	0	808	0	808	歳入決算による
合計	24,386,808	0	24,386,808	18,324,865	6,061,943	

収入決算額	24,385,918	円
支出決算額	18,324,865	円
差引残額	6,061,053	円　（翌年度繰越金）

同窓会だより

－ 事業報告と決算 －

６月10日（土）に役員会が開催され、会計監査を受けました。ならびに、令和４年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、令和５年度の事業計画と予算が提案され、原案どおり承認されました。

令和4年度決算報告

自　R4.4.1
至　R5.3.31　　（単位：円）

収入

項目	予算額（A）	収入済額（B）	比較増減（B−A）	摘要
前年度繰越金	8,362,674	8,362,674	0	
会費収入	1,495,000	1,495,000	0	5,000円×299名
預金利子収入	100	78	△ 22	預金利子　百五銀行 78円
寄付金	0	300,000	300,000	
雑収入	0	149,758	149,758	会費・地研返金
合計	9,857,774	10,307,510	449,736	

支出

項目	予算額（A）	支出済額（B）	比較増減（A−B）	摘要
協賛事業費	1,000,000	1,609,249	△ 609,249	卒業記念パーティー学生参加分、70周年記念事業費
助成事業費	1,000,000	305,992	694,008	学報「みえたん」 大学祭備品・実行委員会・クラブ、サークル助成
卒業記念品作成費	200,000	153,120	46,880	手提袋 学位記ホルダー（教育振興会と分担）
同窓会だより発行費	200,000	232,000	△ 32,000	会報「みえたん」第74号
会議運営費	500,000	256,581	243,419	役員会開催費　役員活動費
事務費	400,000	64,910	335,090	送金手数料、電話料、事務消耗品
予備費	57,774	5,000	52,774	会費返金
小計	3,357,774	2,626,852	730,922	
特別支援費(寄付金)	1,000,000	0	1,000,000	
特別学生支援費	2,000,000	0	2,000,000	
特別事業準備費	3,500,000	0	3,500,000	
合計	9,857,774	2,626,852	7,230,922	

収入済額 10,307,510円　－　支出済額 2,626,852円　＝　次年度繰越額 7,680,658円

現金、預金残高

	金額	摘要
現金	39,525	現金　39,525円
普通預金	7,641,133	百五銀行　7,641,133円
定期預金	0	
計	7,680,658	

キャリア支援活動について

キャリア支援委員会

本学においては、就職や編入学など、学生のみなさんが望む進路へ向かえるように支援する活動、すなわちキャリア支援活動へのご理解をいただくために、新入生のご家族・関係者の方々を対象に説明会を開いております。一年次前期には就職ガイダンスや編入学ガイダンスを行い、進路に向けた心構えや準備について説明いたしました。また、前期に開講されている『キャリア形成セミナー』は、今年度は２３９名（そのほとんどが新入生です）が履修いたしました。講義内容は、前葉泰幸津市長をはじめとして各分野で活躍されている専門家を講師としてお招きし、多様な立場からの人生観・職業観、あるいは働き手として世に出るために必要な知識について、リレー形式で講演をいただくというものです。受講者が多人数であるため、複数の教室を使用し、本教室での映像と音響をサテライト教室に配信する形式で開講しています。学生から提出された毎回の小レポートは講師に送付し、質問された項目については、講師からは毎回丁寧な回答を頂いております。

学生の就職活動をサポートする就職支援室（通称ＴＡＳＫ　ＲＯＯＭ）では、求人票や就職試験受験報告書、企業説明会案内などの各種資料を備えており、通常期は週に２～３日、繁忙期には週に４日、キャリアカウンセラーが進路相談に対応しています。ＴＡＳＫ　ＲＯＯＭ内には面談コーナーを設置し、面接やマナーについての指導を実践的かつ丁寧

（４面へ続く）

（4面から続き）

に行っています。

就職活動については、1年生は後期から開催される就職ガイダンスに参加し、活動を本格的に開始することになります。2年生については、学生部とTASK ROOM、そして教員が連携を図りながら、進路決定状況を把握し、出足の遅い学生には企業説明会や模擬集団面接、模擬討論などへの参加を促し、内定率の向上を図っています。

編入学については、図書館に各大学の募集要項や受験報告書、試験対策テキストを備え、編入学志望者によって活用されています。また主にゼミ指導教員が専門科目や面接・口頭試問への対策、志望理由書の作成への援助などにとりくんでいます。他方で編入学講座をオンライン形式で開催し、専門家による英語と小論文の指導を行っています。

最後に、公務員試験対策としては、各機関の人事担当者を招いた公務員就職説明会の開催や、オンライン形式による公務員講座の開講といった取り組みを行っております。

学生自治会だより

自治会・大学祭実行委員会

1部自治会長

法経科第1部　満永星美

私たち1部自治会は法経科第1部と食物栄養科、そして生活科学科の学生で構成されています。学生生活が充実したものになるよう、2部自治会や大学祭実行委員会などと協力し、人との繋がりを大切にしながら日々活動しています。

主な活動内容は、新入生歓迎会やバス旅行などのイベントの企画運営、サマフェスや大学祭での出店です。

大学は高校までと異なり、クラス単位で同じ授業を受けるわけではないので、交友関係を築くことが難しいと感じている方もいるかもしれません。そんな方は是非自治会の活動やイベントにご参加ください！きっと新しい出会いが待っていますよ！

2部自治会長

法経科第2部　大橋麻尋

私たち2部自治会は1部自治会と共に、2年の短大生活を盛り上げるために日々活動しています。私たちは主に法経科2部の新入生歓迎会や、バス旅行の企画運営を行っています。今年は1部自治会とも協力し、これらのイベントの他にも自治会運動会を開催し、参加者の皆さんを盛り上げることが出来ました。7月に行われたサマーフェスティバルでは学祭実行委員会と協力しコロナ明け初の模擬店を出店することが出来ました。これからも皆さんの学生生活を盛り上げるようなイベントを実施していきます。直近では自治会主催で球技大会を開催する予定ですので是非ご参加ください！

大学祭実行委員会委員長

法経科第1部　家元丈太郎

私たち学祭実行委員会は、夏期のサマーフェスティバル、12月に開催が予定されている大学祭の企画、運営を行っています。サマフェスでは3年ぶりとなる、調理工程を含む飲食物の出店を行うことが出来ました。先生方、学生部の方々にお力添えを頂き、とても盛り上がり、いい思い出になりました！私たちは学祭実行委員会だけでなく、1部、2部自治会とも連携してサマフェス、学祭を運営しています。大学祭はサマフェスよりも盛大に行いたいと考えているので、是非ご期待してお待ちください！

令和4年度の学事報告

大学総務課

4月…入学式（3日）、新入生各種ガイダンス（4日）、前期講義開始（7日）、健康診断（21日、22日）、大津波想定避難訓練（28日）

7月…サマーフェスティバル（3日）、オープンキャンパス（16～18日）前期補講（28～30日）

9月…前期成績発表（21日）

10月…後期講義開始（3日～）、受験相談会（15日）、関連分野入学試験（22日）、70周年記念式典（29日）

11月…推薦入学試験（26日、27日）

12月…受験相談会（17日）、冬季休業（27日～1月3日）

1月…後期講義再開（4日～）

2月…後期補講（1日～3日）、法経科第2部受験相談会（4日）、一般入学試験（9日）、後期追試験（17日、20日）

3月…後期成績発表（1日）、法経科第2部入学試験（5日）、学位記授与式（18日）

令和4年度 進路状況

学生部

令和4年度の企業の採用活動については、例年通り3月1日に採用広報活動が解禁となり、採用選考の開始は6月1日以降でした。

コロナ禍の影響により、オンラインによる就職活動が定着していますが、最終面接を対面に戻す企業もあり、令和4年度の就職活動は多様化しました。そのため、タスクルームにおいては、様々な就職活動に対応できるよう幅広い就職対策をし、きめ細かいサポートをしました。

また、公務員就職活動においては、多くの自治体が前期・後期の採用試験日程を設けており、採用活動が早まっています。そのため、集団討論や集団面接の対策を6月及び7月に行い、複数回実施しました。

このような状況の中、当初の就職内定率は例年通り低調でしたが、最終的には98・3％まで上昇しました。

編入学については、多くの学生が希望しており、1年生の後期から始まる編入学対策講座にも多くの学生が受講しました。

令和4年度の進路状況は次のようになります。

法経科第1部卒業生108名中、進学19名（うち大学編入18名）、就職65名（うち公務員7名）となっています。

法経科第2部卒業生37名中、進学10名（同9名）、就職12名（同1名）となっています。

食物栄養学科食物栄養学専攻卒業生41名中、進学7名（同7名）、就職30名（同1名）となっています。

生活科学科生活科学専攻卒業生102名中、進学14名（同14名）、就職62名（同7名）となっています。

編入学先としては、国公立大学20名（三重7名、島根4名、長野2名、大阪市立、香川、埼玉県立、都留文科、新潟、福知山公立、和歌山）、私立大学28名（神戸学院3名、大阪経済2名、南山2名、武庫川女子2名、愛知学院、岡山学院、関西、京都産業、京都女子、皇學館、駒澤、椙山女学園、鈴鹿医療科学、東京経済、東京女子、名古屋経済、日本、日本福祉、花園、阪南、松本、名城、龍谷）となっています。

主な就職先としては、法経科第1部法律コースでは公務員（三重県庁、三重県警察、津市役所等）、法経科第1部経商コースでは金融機関や小売業、食物栄養学科食物栄養学専攻では委託給食会社や医療機関、生活科学科生活科学専攻福祉心理コースでは社会福祉法人、居住環境コースでは住宅・不動産など、学科の特色を生かした職種への就職する傾向が見られました。

成績優秀者及び功績者表彰

大学総務課

令和5年3月に挙行されました学位記授与式におきまして次の者を表彰しました。

食物栄養専攻並びに生活科学専攻生活福祉・心理コースの成績優秀者に対し、一般社団法人全国栄養士養成施設協会、並びに一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟より授与されるものです。

●全国栄養士養成施設協会表彰
食物栄養学専攻　和田真美

●日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰
生活科学専攻　生活福祉・心理コース　阿部日向

食物栄養学専攻　和田　真美さん

施設改修工事について

大学総務課

学生の学習環境の改善及び施設の長寿命化対策のため、令和4年度は校舎棟外壁等改修工事を実施し、外壁や耐震ブレスの塗装、屋上の防水・塗装、サッシの取替、外壁のコーキングを行いました。（決算額　1億3879万円）

また、校舎棟空調設備は老朽化による冷房能力の低下も見られたことから、校舎棟等の空調機器61台の取替工事を実施しました。（決算額7，998万円）

本年度は、校舎棟雷保護設備設置工事を実施します。（予算額621万5千円）